

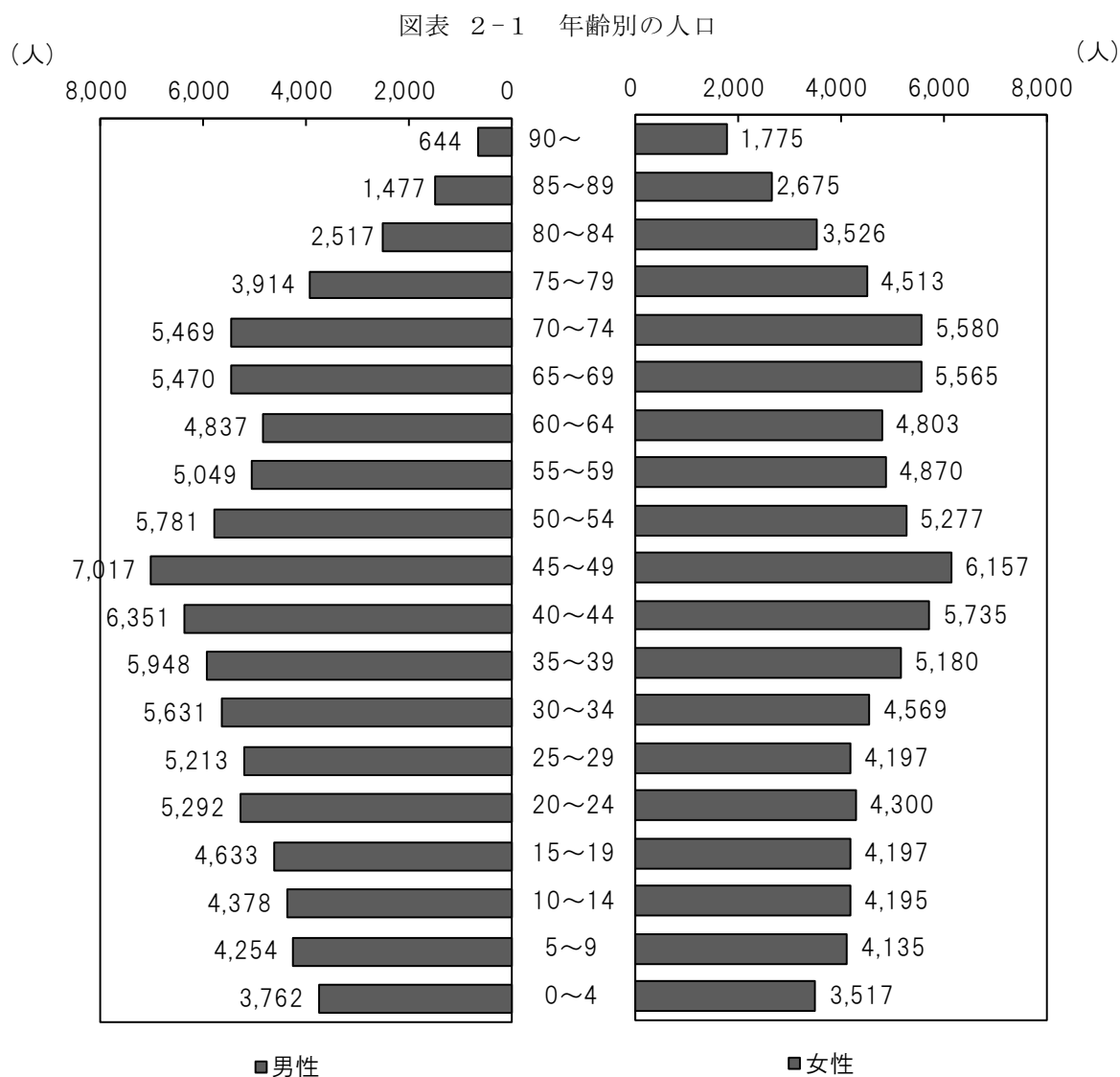
第2章 西尾市の現状

1 少子化の動向

(1) 人口

年齢別の人口は、男女ともに45～49歳が最も多くなっています。

本市の居住期間については、25～29歳と30～34歳で「1年未満」「1年以上5年未満」の合計が5割近くとなっており、就職、結婚、新築等で市外から転入する人が多いことがうかがわれます。



資料：西尾市「住民基本台帳・外国人登録」（令和元年10月1日）

図表 2-2 居住期間

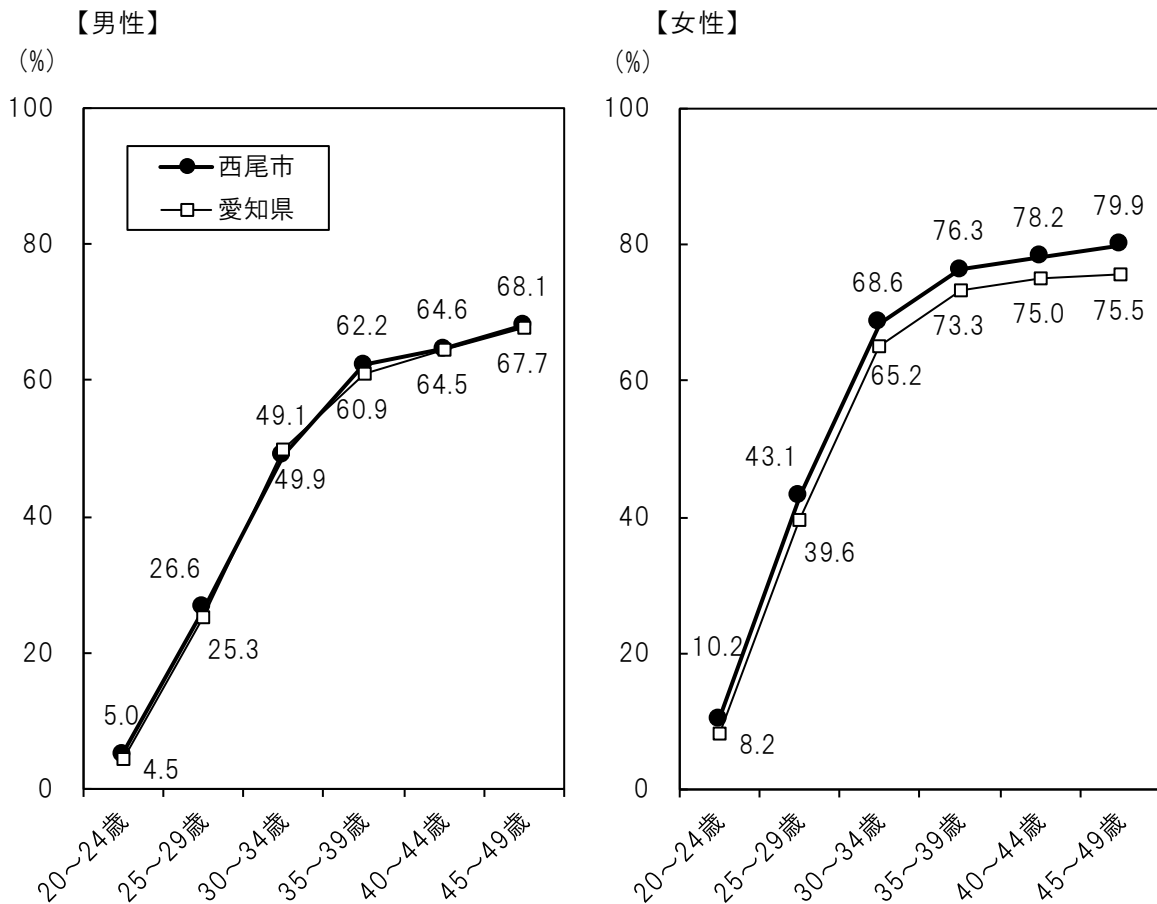
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答・ 不詳
20～24歳	11.6%	17.4%	6.0%	63.8%	1.2%
25～29歳	16.3%	31.0%	7.0%	44.1%	1.6%
30～34歳	12.6%	36.7%	15.9%	33.5%	1.3%
35～39歳	7.0%	27.3%	25.8%	39.1%	0.8%

資料：総務省「国勢調査」（平成27年）

(2) 婚姻

本市の婚姻率をみると、30～34歳で男性は49.1%、女性は68.6%です。愛知県と比べると、女性の婚姻率がやや高い傾向がみられます。

図表 2-3 婚姻率



資料：総務省「国勢調査」（平成27年）

(3) 出生

合計特殊出生率は、1.56で現在の人口を維持するための2.07を下回っています。愛知県と比較すると、やや高くなっています。

図表 2-4 合計特殊出生率

	西尾市	愛知県
平成29年	1.56	1.54

資料：西尾市

(4) 人口推計

保育サービスの必要量を算定するため、コーホート変化率法を用いて、本市の令和2～6年の性別・年齢別の10月1日現在の人口を算出しました。

○推計方法

平成27～30年の10月1日時点の人口データを用いて、コーホート変化率法により、本市の0～17歳の人口を推計しました。出生数は、本市の年齢別女性の出生率（平成28～29年）に、年齢別女性の推計人口を乗じて算出しています。

○推計結果

推計結果は次のとおりです。児童数は令和元年の29,319人から緩やかに減少し、令和6年には28,829人になる見込みです。

年齢別にみると、0～5歳と6～11歳は徐々に減少する一方、12～17歳はやや増加する見込みです。

(人)

	0～5歳	6～11歳	12～17歳	合計
令和元年(実績)	8,933	10,234	10,152	29,319
2	8,799	10,252	10,296	29,347
3	8,720	10,103	10,352	29,175
4	8,563	10,100	10,402	29,065
5	8,518	9,879	10,518	28,915
6	8,518	9,664	10,647	28,829

注：10月1日時点

2 家庭の状況

(1) 子どものいる世帯

本市の核家族世帯の割合は、6歳未満の子どものいる世帯で77.0%、18歳未満の子どものいる世帯で70.6%です。愛知県と比べると低くなっています。

6歳未満の子どものいる世帯の割合は11.7%、18歳未満の子どものいる世帯は28.0%です。愛知県と比べると高くなっています。

図表 2-5 核家族世帯の割合

	西尾市	愛知県
6歳未満	77.0%	87.8%
18歳未満	70.6%	84.2%

図表 2-6 子どものいる世帯の割合

	西尾市	愛知県
6歳未満	11.7%	9.9%
18歳未満	28.0%	23.9%

資料：総務省「国勢調査」（平成27年）

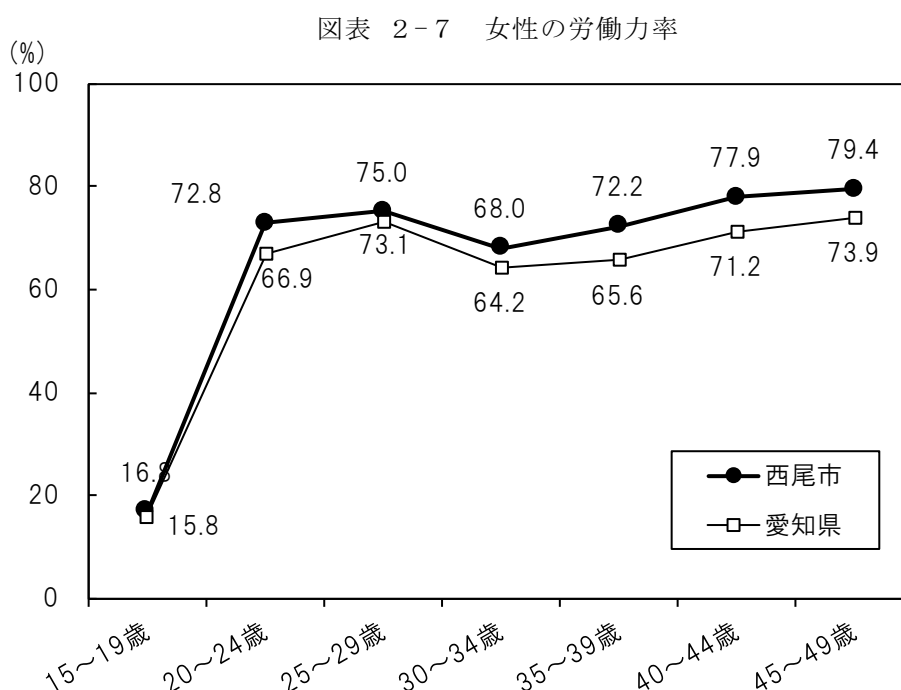
注：一般世帯対象

(2) 就労状況

本市の女性の労働力率は、各世代で愛知県より高くなっています。ただし、30～34歳で低下しており、妊娠・出産・育児で仕事から離れる人が一定数みられます。

本市の就業者に占める雇用者の割合は男性で78.3%、女性で81.0%です。男性は「正社員」が64.0%と多く、女性は「パート・アルバイト」が43.7%と多くなっています。

市民が従事する産業をみると、「第2次産業」が44.0%、「第3次産業」が48.1%です。愛知県と比べると、本市は第2次産業の割合が高いことが特徴です。



図表 2-8 就業者に占める雇用者の割合

	男性			女性		
	雇用者計	正社員	パート・アルバイト	雇用者計	正社員	パート・アルバイト
西尾市	78.3%	64.0%	10.6%	81.0%	34.4%	43.7%
愛知県	79.8%	66.0%	11.2%	84.5%	35.3%	45.3%

図表 2-9 市民が従事する産業

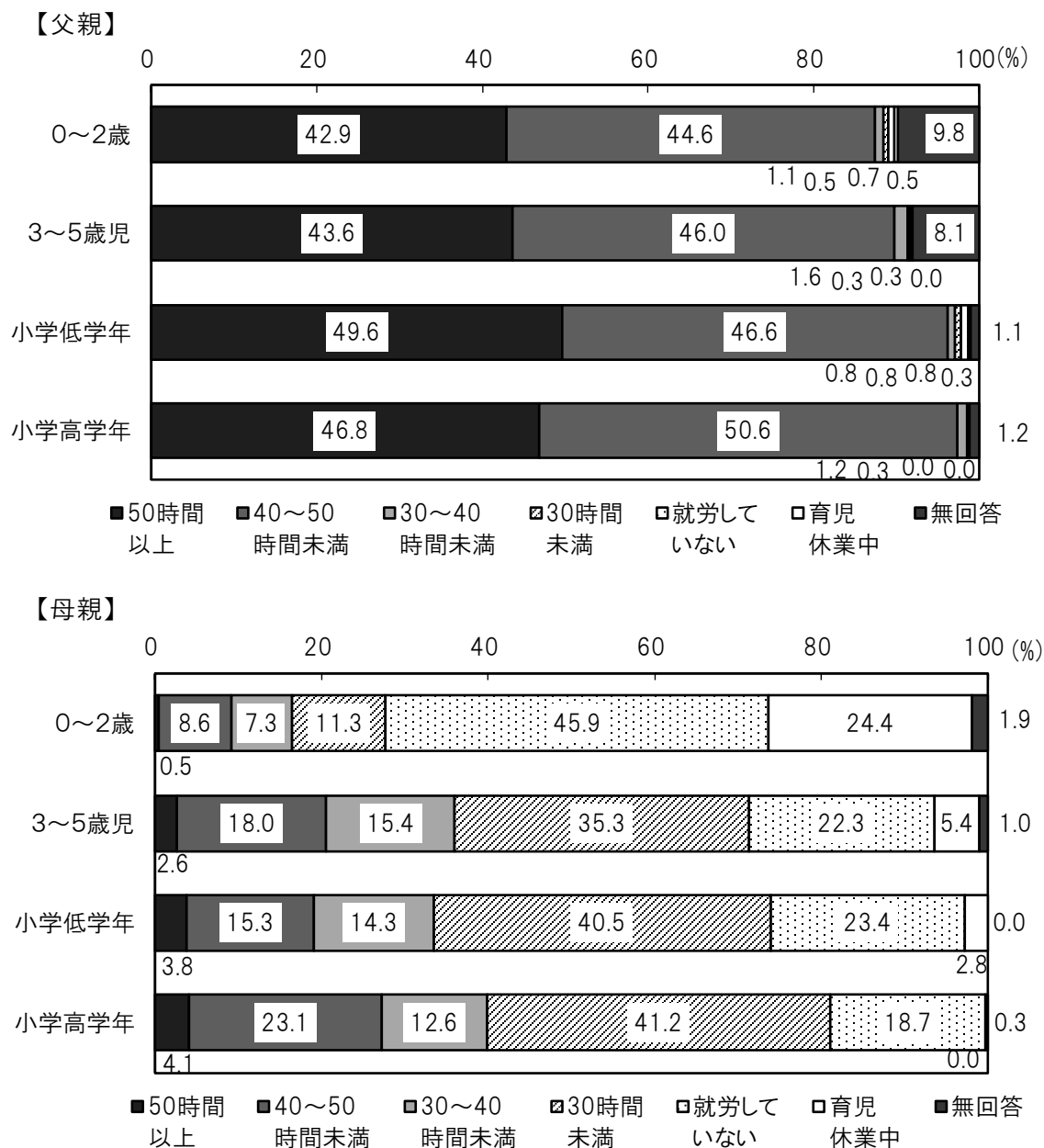
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	他・無回答
西尾市	5.7%	44.0%	48.1%	2.2%
愛知県	2.1%	32.0%	61.3%	4.6%

資料：総務省「国勢調査」(平成27年)(図表2-7～2-9)

(3) 保護者の就労状況

就労者の1週間の平均就労時間をみると、父親は4割以上の方が「50時間以上」と回答しています。一方、母親は3～5歳児で働く人の割合が上昇しています。

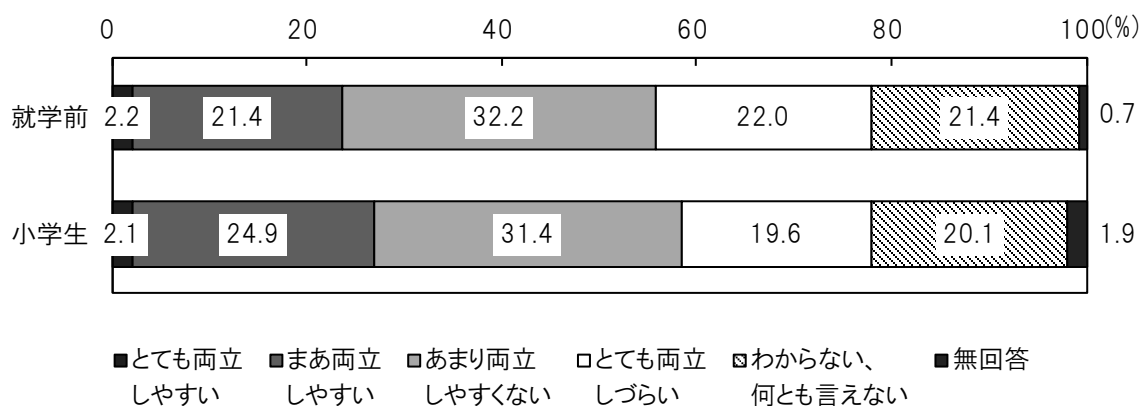
図表 2-10 1週間の平均就労時間



資料：西尾市「子ども・子育て支援等ニーズ調査」

仕事と家庭の両立環境について、「あまり両立しやすすくない」「とても両立しづら
い」の回答が多くみられ、「とても両立しやすすい」と答える人はわずかです。

図表 2-1 1 仕事と家庭の両立環境



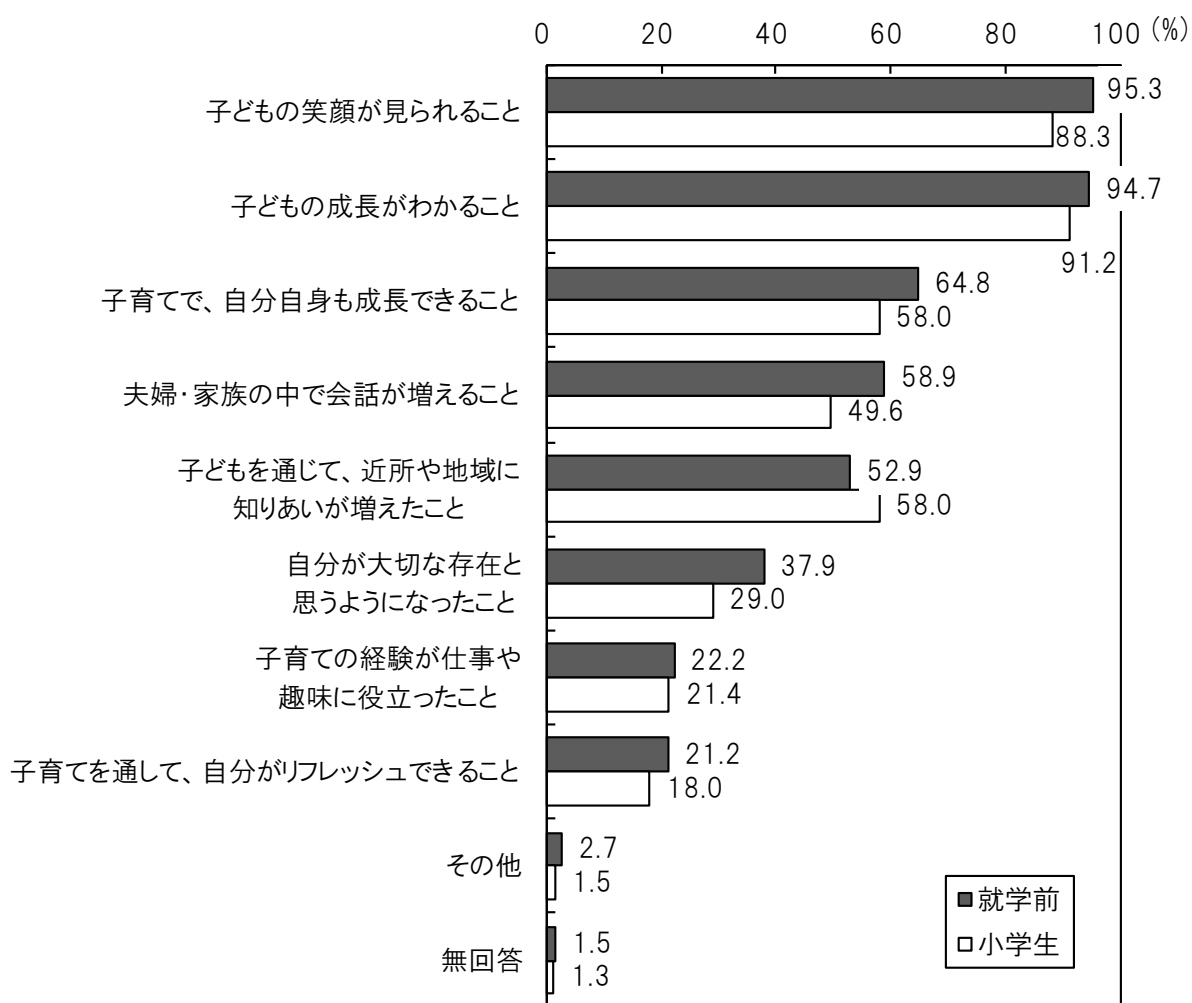
資料：西尾市「子ども・子育て支援等ニーズ調査」

(4) 子育ての楽しさ・不安

ア 子育ての楽しさ

子育てをして良かったこと、楽しいことについては、子どもの笑顔、子どもの成長など子どもに関することの回答率が最も高くなっています。これらに加え、自分自身が成長した、夫婦・家族の中で会話が増えた、近所や地域に知り合いが増えたなど保護者自身・家族・地域など様々な広がりがあることが確認できます。

図表 2-1 2 子育てをして良かったこと、楽しいこと



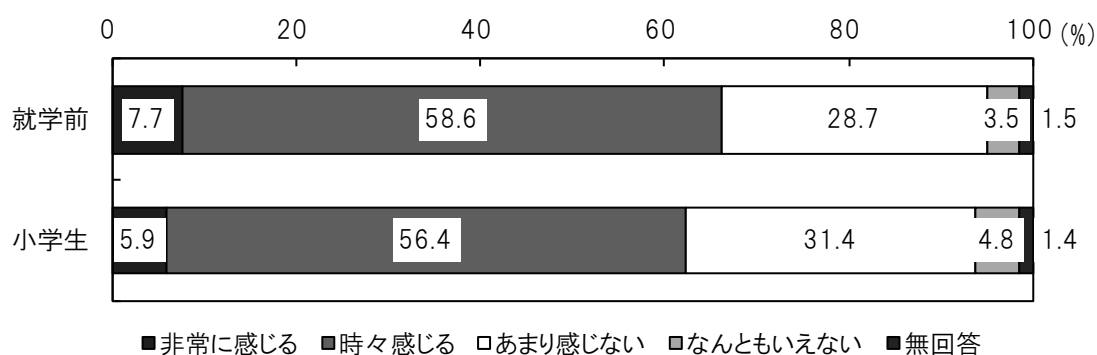
資料：西尾市「子ども・子育て支援等ニーズ調査」

イ 子育ての不安感・負担感

就学前児童、小学生の保護者の6割以上で、子育ての不安感・負担感を感じています。

子どもの育て方で不安なこととして、しつけ、子どもの心、病気や発育・発達、教育があげられています。子育ての負担感・悩みについては、自分の時間がないこと、身体の疲れが大きいこと、出費がかさむことなどへの回答が多くなっています。

図表 2-1 3 子育ての不安感・負担感



図表 2-1 4 子どもの育て方で不安なこと

	就学前児童の保護者	小学生の保護者
第1位	しつけ 54.7%	子どもの心 55.7%
第2位	病気や発育・発達 48.2%	教育 53.9%
第3位	教育 47.5%	しつけ 40.5%

図表 2-1 5 子育ての負担感・悩み（そう思うの回答率）

	就学前児童の保護者	小学生の保護者
第1位	自分ひとりの時間がない 34.3%	出費がかさむ 31.4%
第2位	身体の疲れが大きい 28.4%	身体の疲れが大きい 20.1%
第3位	出費がかさむ 26.1%	自分ひとりの時間がない 19.2%

資料：西尾市「子ども・子育て支援等ニーズ調査」（図表 2-13～2-15）

図表 2-1 6 子どもを虐待していると思われる親の割合

4か月児	1歳6か月	3歳児
9.2%	24.5%	42.3%

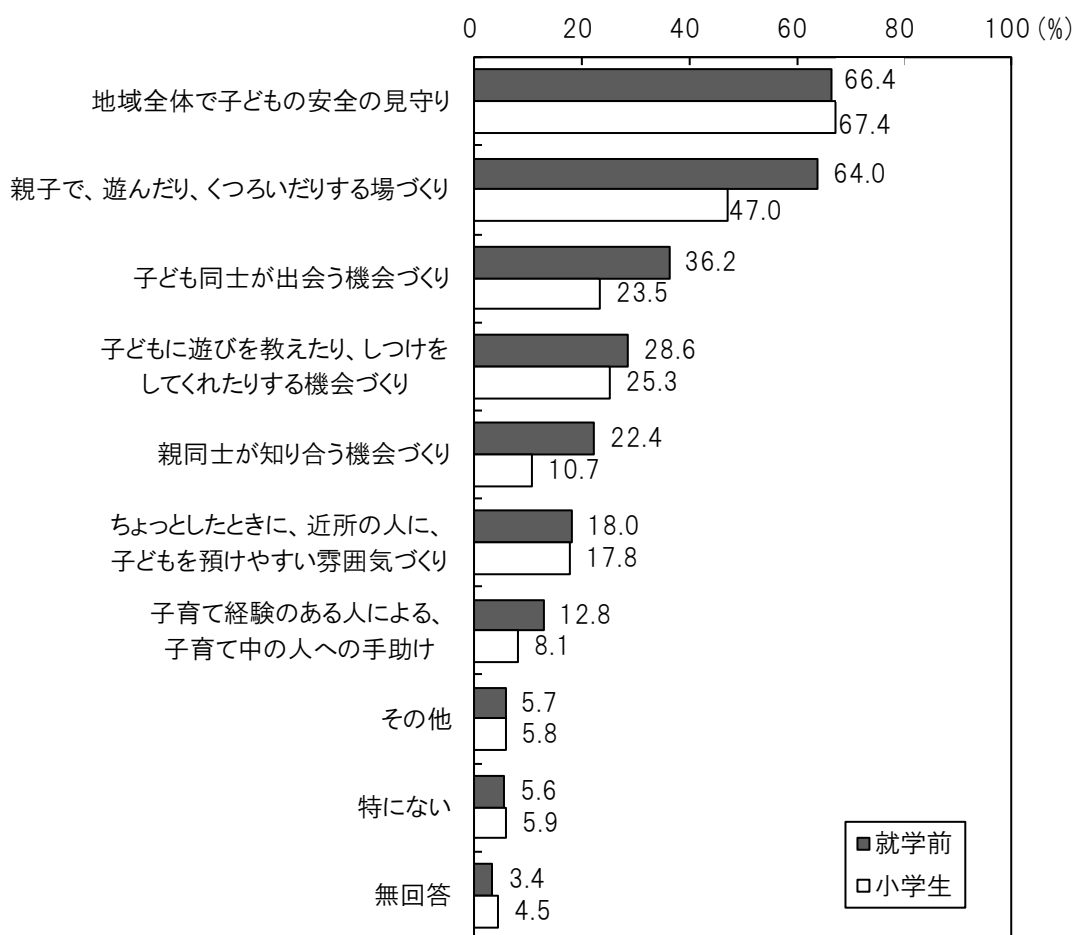
資料：西尾市「乳幼児健康診査問診項目」（平成 29 年度）

(5) 子育て支援への要望

ア 地域が取り組むこと

就学前・小学生ともに、子どもの安全の見守り、親子で過ごす場の提供について多くの人が地域に求めています。また、子ども同士が会う機会、子どもに遊びを教えてもらえる機会、親同士が知り合う機会など、様々な機会づくりも期待されています。

図表 2-17 地域が取り組むこと

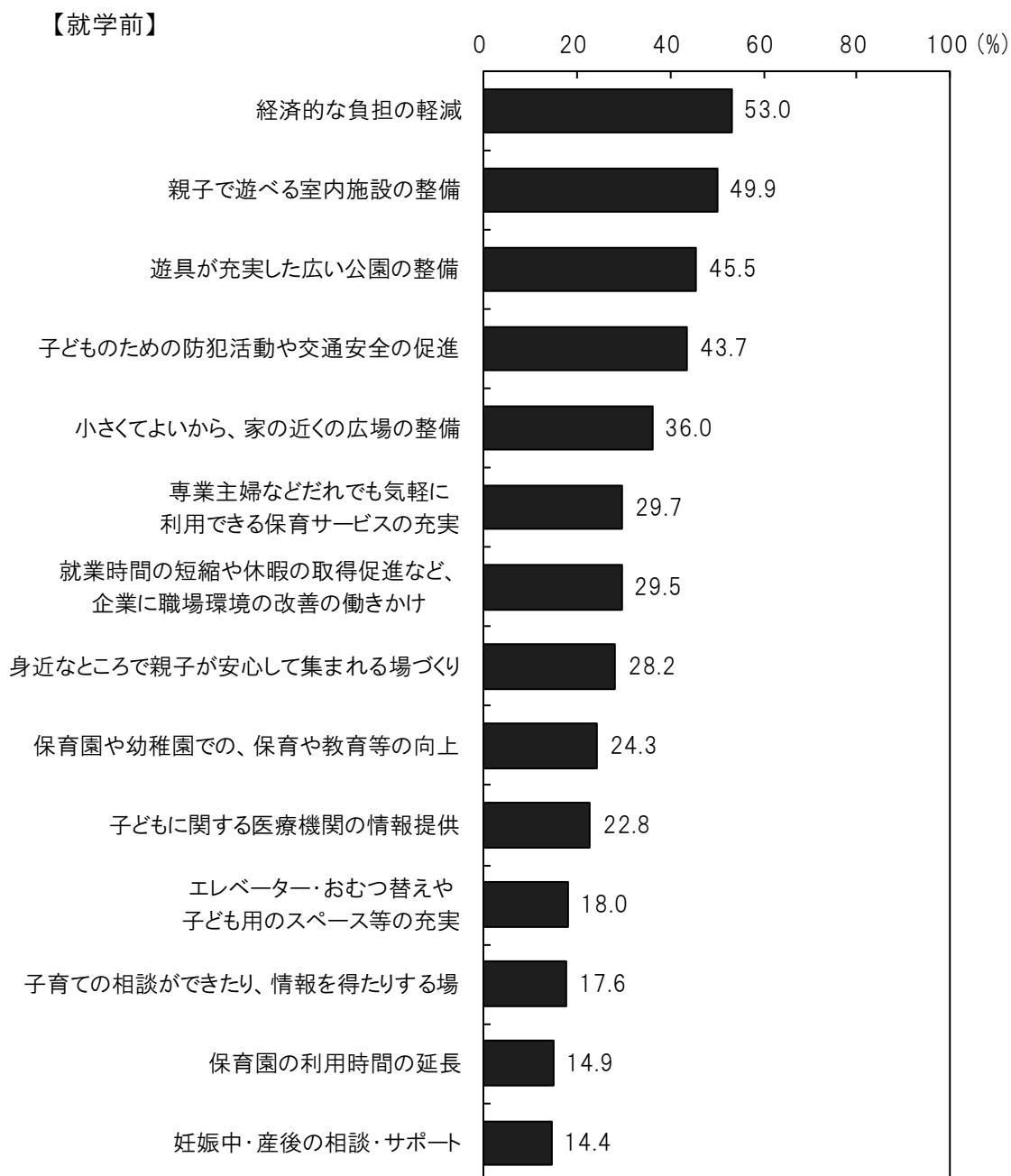


資料：西尾市「子ども・子育て支援等ニーズ調査」

イ 行政が取り組むこと

行政が取り組むこととして、就学前・小学生ともに、経済的な負担の軽減、防犯活動や交通安全の推進を求める人が多くなっています。また、就学前では、公園・広場や室内の遊び場の整備、だれでも気軽に利用できる保育サービスなど、小学生では、学校での心の教育・社会性を身につける指導・学力指導などに取り組むことが求められています。

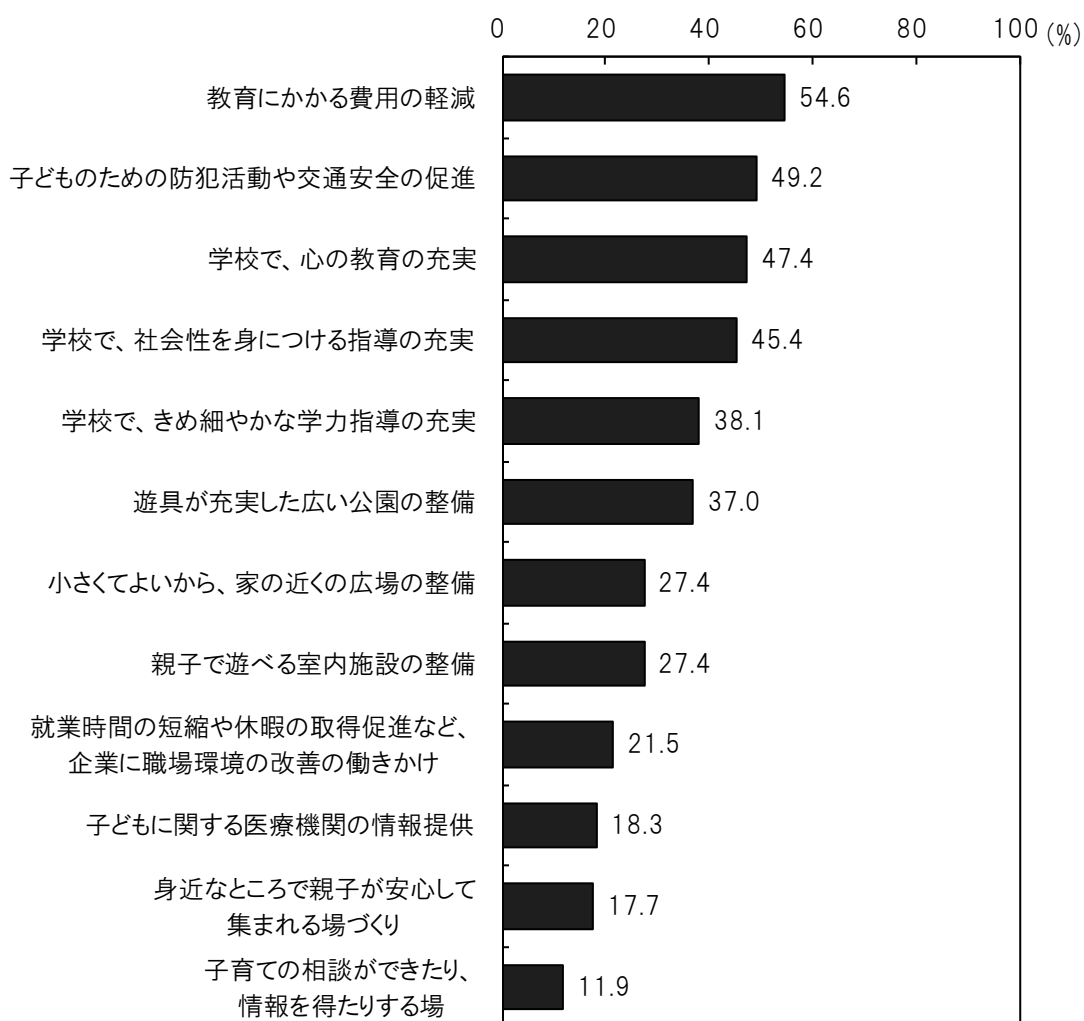
図表 2-18 行政が取り組むこと



資料：西尾市「子ども・子育て支援等ニーズ調査」

注：10%以上の回答のあった項目を掲載

【小学生】



資料：西尾市「子ども・子育て支援等ニーズ調査」

注：10%以上の回答のあった項目を掲載

3 子どもの状況

(1) 保育園、幼稚園、小中学校の子どもの数

令和元年度において、5歳では保育園の通園者が1,225人、幼稚園の通園者が342人で、本市では定員の関係もありますが保育園通園者が多い傾向にあります。

小学校児童数、中学校生徒数ともに、ほぼ横ばいで推移しています。

図表 2-19 年齢別就園者数

○保育園 (人)

(年度)	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成 28	4,588	49	277	432	1,238	1,270	1,322
29	4,501	49	322	382	1,201	1,260	1,287
30	4,442	62	297	429	1,172	1,214	1,268
令和元	4,316	56	286	365	1,188	1,196	1,225

○幼稚園 (人)

(年度)	合計	3歳	4歳	5歳
平成 28	1,096	370	363	363
29	1,084	329	384	371
30	1,099	361	341	397
令和元	1,035	329	364	342

注 : 保育園は4月1日、幼稚園は5月1日現在

図表 2-20 小学校児童数、中学校生徒数

(人)

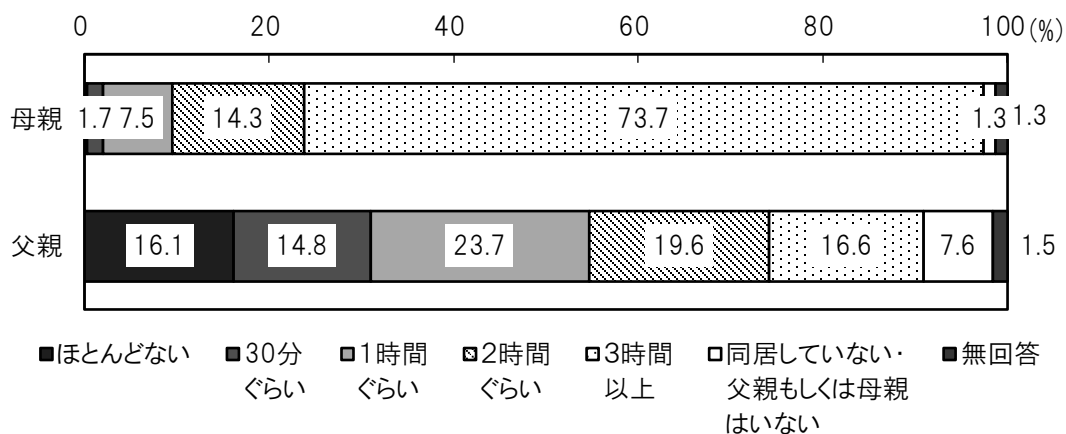
	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度
小学校	9,945	10,018	10,166	10,142
中学校	4,962	4,963	4,994	4,946

注 : 5月1日現在

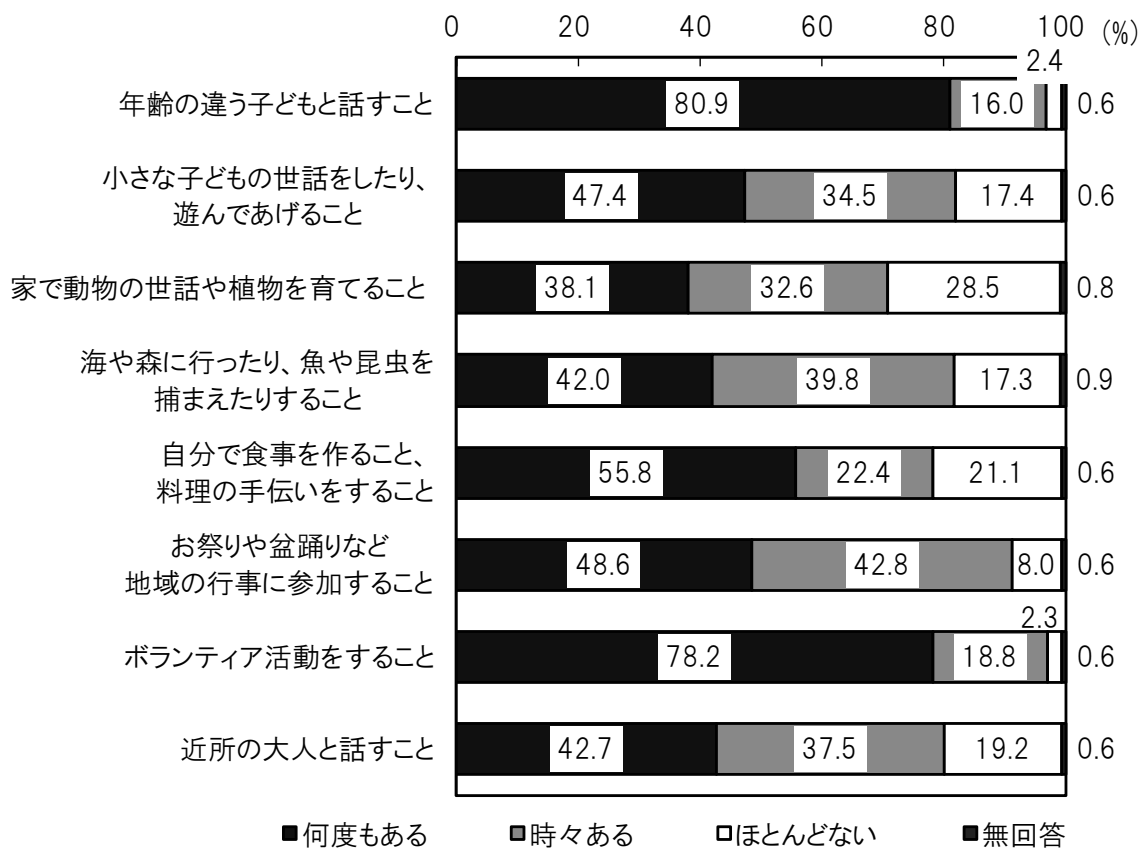
子どもと親が一緒にいる時間について、母親は「3時間以上」の割合が7割を超えていますが、父親は「ほとんどない」から「3時間以上」まで回答が分散しています。

子どもが様々な体験をする機会について、小さな子どもとのふれあい、海や森などの自然体験、食事づくりや料理の手伝い、近所の大人と話すことなど、子どもによってかなり異なっていることがわかります。

図表 2-21 子どもと親が一緒にいる時間



図表 2-22 子どもが様々な体験をする機会



資料：西尾市「次世代育成支援に関するアンケート調査」（図表 2-28～2-29）

注：小学生児童対象

4 主な子育て支援施策等の状況

(1) 保育サービス等

市内に保育園は35か所、幼稚園は6か所で、平成29年度末で佐久島保育園が休園しています。

就園者数については、保育園、幼稚園ともに微減で推移しています。

図表 2-23 保育園と幼稚園の状況

○ 設置数 (人)

(年度)	保育園			幼稚園		
	合計	公立	私立	合計	公立	私立
平成 28	36	26	10	6	3	3
29	36	26	10	6	3	3
30	35	25	10	6	3	3
令和元	35	25	10	6	3	3

○ 就園者数 (人)

(年度)	保育園			幼稚園		
	合計	公立	私立	合計	公立	私立
平成 28	4,588	3,106	1,482	1,099	643	456
29	4,501	3,027	1,474	1,090	629	461
30	4,441	2,973	1,468	1,108	660	448
令和元	4,315	2,886	1,429	1,040	635	405

注 : 保育園は4月1日、幼稚園は5月1日現在

保育園の入所待機児童数は、基本的に0人で推移しています。

保育園の保育時間について、35園中32園が長時間保育を行っており、2園では午後7時30分まで開園しています。

一時保育については、平成28年度から30年度にかけて増加しています。

図表 2-24 保育園入所待機児童数

(人)

	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度
4月1日	0	0	0	0
10月1日	0	0	0	0

図表 2-25 長時間保育

(人)

	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度
利用実児童数	1,838	1,975	2,084	

図表 2-26 一時保育

(人日)

	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度
延べ利用児童数	13,486	13,642	15,428	

事業所内保育施設等は15か所で入所児童数は150人です。

家庭児童相談等の相談件数は虐待等養育相談など237件（平成30年度）で、母子・父子相談は生活援護など624件です。

障がい児保育について、令和元年度は253人です。

白ばら園は、知的障がいのある児童（自閉的傾向を含む）及び重度障がいのある概ね3～5歳までの幼児を対象としています。園児数はほぼ横ばいで推移しています。

図表 2-27 事業所内保育施設等

施設数	入所児童数	種類
15	150人	事業内保育施設12か所、その他3か所

注：平成31年4月1日現在

図表 2-28 家庭児童相談等の相談件数
(件)

(年度)	家庭児童相談等	母子・父子相談
平成28	197	633
29	207	640
30	237	624

図表 2-29 障がい児保育

	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度
実施保育園数	(か所) 21	34	32	34
対象児童数	(人) 76	371	303	253

注：4月1日現在

図表 2-30 白ばら園

(人)

	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度
園児数	51	47	47	46

注：4月1日現在

地域子育て支援センターは、令和元年度時点では子育て支援センターが 11 か所、サブセンターが 2 か所、ひろばが 4 か所となっています。

子育て支援センターの利用者数（平成 30 年度）は、育児相談面接で 3,702 人、親子ふれあい広場で 17,873 人、施設開放で 59,765 人の利用があり、この他、育児相談電話、育児講座を行っています。

サブセンターの利用者数（平成 30 年度）は、親子ふれあい広場が 415 人、施設開放が 2,036 人、ひろばの利用者数（平成 30 年度）は、親子ふれあい広場が 1,709 人、施設開放が 18,665 人です。

図表 2-3 1 地域子育て支援センター

○ 設置数 (か所)

	平成 28 年度	29 年度	30 年度	令和 元年度
子育て支援センター	11	11	11	11
サブセンター	2	2	2	2
ひろば	4	4	4	4

○ 子育て支援センターの事業・利用者

	育児相談 電話	育児相談 面接	親子ふれあい 広場	施設開放	育児講座
平成 30 年度	46	3,702	17,873	59,765	526 回

○ サブセンターの事業・利用者 (人)

	親子ふれあい 広場	施設開放
平成 30 年度	415	2,036

○ ひろばの事業・利用者 (人)

	親子ふれあい 広場	施設開放
平成 30 年度	1,709	18,665

(2) 児童健全育成

児童クラブは、佐久島しおさい学校区を除くすべての学区で、合計 27 か所（公設公営 26 か所、民設民営 1 か所）となっています。

児童館は 4 館で、その他 1 か所のこどもひろばがあります。利用者数は 5 か所計で延べ 8.6 万人以上にのぼります。

児童遊園、ちびっこ広場、街区公園を合計すると、平成 30 年度時点で公園等は 154 か所となります。

図表 2-3 2 児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度
施設数	(か所) 27	27	27	27
利用児童	(人) 992	1,111	1,250	1,306

注 : 5 月 1 日現在

図表 2-3 3 児童館等の利用者数

(人)

	中央 児童館	一色 児童センター	吉良児童館	幡豆児童館	寺津 こどもひろば
平成 30 年度	27,779	30,592	14,152	9,756	4,388

図表 2-3 4 児童遊園・公園等

(か所)

	児童遊園	ちびっこ広場	都市公園の 街区公園
平成 30 年度	49	68	37

(3) 各種手当

児童手当は、平成 31 年 2 月末現在で 14,054 人が受給しています。また、母子家庭等を対象とした児童扶養手当・遺児手当、障がい児を対象とした特別児童扶養手当が支給されています。

子ども医療費の支給についても、平成 16 年以降、4 回にわたり対象年齢を拡大し、現在では入院・通院ともに中学生以下が受給できます。

図表 2-35 各種手当の受給者数

(人)

	児童手当	児童扶養手当	特別児童扶養手当	市遺児手当
平成 30 年度	14,054	1,144	468	1,098

図表 2-36 子ども医療費

	対象
平成 16 年 7 月	就学前の乳幼児に拡大(従来は5歳未満児)
18 年 4 月	小学1年生に拡大
20 年 4 月	通院:小学6年生に拡大、入院:中学3年生に拡大
21 年 4 月	通院:中学3年生に拡大

(4) 母子保健事業

平成 29 年度の妊娠届出者の年齢は 30～34 歳が 34.1%、25～29 歳が 31.7%となっています。出生数 1,000 人あたりの乳児死亡率は 2.3 人、早期新生児死亡率は 0.8 人と低位で推移しています。

各種健康診査の受診率は総じて 9 割を超えています。妊婦健康診査の 2 回目、乳児健康診査の 2 回目、歯科健康診査の 2 回目の受診率はやや低くなっています。

図表 2-37 妊娠届出者の年齢

(%)

	20 歳未満	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40 歳以上
平成 29 年	1.6	11.9	31.7	34.1	16.4	4.3

注：妊娠届出書より

図表 2-38 乳児死亡率・新生児死亡率

(人)

	乳児死亡率	早期新生児死亡率
平成 29 年	2.3	0.8

注：出生数 1,000 人に対する死亡数

図表 2-39 健康診査等の受診状況

○ 妊婦・乳児健康診査の受診率

(%)

	妊婦1回目	妊婦2回目	乳児1回目	乳児2回目
平成 30 年度	92.7	88.5	97.2	66.0

注：妊婦受診率＝対象年度の受診数÷対象年度の母子健康手帳交付数

乳児受診率＝対象年度の受診数÷対象年度の出生数

○ 健康診査の受診率

(%)

	4か月児	1歳6か月児	3歳児
平成 30 年度	99.1	97.9	96.7

○ 歯科健康診査の受診率

(%)

	1歳6か月	2歳	2歳6か月	3歳
平成 30 年度	97.9	93.0	89.8	97.5

出産前後の育児不安の軽減のため、また、乳幼児の健康診査の未受診者、健康診査受診者で育児支援の必要な人、医療機関等からの依頼などにより家庭訪問を行っています。このような訪問指導は増加してきており、平成30年度は計957人となっています。

相談事業としては、育児相談、おめでとう相談、こんにちは赤ちゃん訪問などがあり、平成30年度は延べ2,213件となっています。

図表 2-40 保健指導等

○ 訪問指導（平成30年度） (人)

	妊産婦 家庭訪問	新生児・未熟児 家庭訪問	乳幼児 家庭訪問
指導人数	365	122	470

注：訪問指導人数は延べ

○ 相談事業（平成30年度） (件)

	育児相談	おめでとう相談	こんにちは 赤ちゃん訪問
相談件数	647	255	1,311
相談内容	育児相談、発達相談、栄養相談、歯科相談	哺乳相談、育児相談	子育て支援情報紹介、健診予防接種の案内、育児相談
スタッフ	保健師 看護師 栄養士 歯科衛生士	助産師 保健師 看護師	赤ちゃん訪問員 (助産師・看護師・保育士・保健師)

(5) 地域活動等

主に放課後の子どもを対象として、サタデープラン、寺子屋を開催しています。また、各地域に子ども会が299団体あります。

各保育園・幼稚園・小中学校では、交通安全教室を開催しています。

図表 2-4 1 地域で児童・生徒が参加する活動

	サタデープラン	寺子屋	赤ちゃん ふれあい体験	子ども会
平成30年度	77教室	12か所	588人	299団体

図表 2-4 2 交通安全教室

・平成30年度

	対象	回数	延べ参加者数	内容
幼児交通安全教室	保育園、幼稚園 児等	25	3,136	実地指導、講話
小中学校交通安全教室	小中学生	28	6,252	実地指導、講話

